（借入金を法人に引継ぐ場合の証明書例）

 年 月 日

（金融機関名）

 （代表者名） 殿

 住 所

 氏 名

負債残高証明及び債務引継承認願

 私の開設する △△△診療所は、このたび医療法に基づく医療法人に組織変更し、医療法人○○会を設立し同法人が △△△診療所を開設することになりました。

 つきましては、私が貴○○との間に締結した○年○月○日付金銭消費貸借契約証書により借り受け負担している債務元金○○○円也（○年○月○日現在額金○○○円也）及びこの債務から生ずる一切の債務を前記の法人設立のうえは同法人に引継ぎたく、川崎市長に設立認可申請書を提出するに当たり、貴○○のご証明及びご承認を得たくお願いします。

 上記の件証明及び承認します。

 年 月 日

 所在地

 金融機関名

 代表者名

（作成上の注意）

この様式は参考であり、金融機関独自の様式を使用しても差し支えないこと。

借入金の一部のみを引き継ぐ場合は、「債務当初元金　　円也のうち債務当初元金　　円也及びこの債務から生ずる一切の債務」とする。この場合、引継ぎ可能な借入金の額は、設立時の負債内訳書（様式⑤）の負債引継額の欄の額と一致する。